

授業科目 解剖学実習Ⅱ

【担当教員名】 山田まりえ、西野幾子	対象学年	1	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【概要及び学習目標】

概要：人体模型標本の観察とスケッチ。模型、写真、ビデオ及びパソコンによる骨格筋の観察の観察。
平衡聴覚器、発声発語器官の模型による観察とスケッチ。人体解剖実習、特に頭頸部の観察。

学習目標：人体の構造を詳細に観察することによって、解剖学的な理解を深め、特に聴覚器・発声発語器官の解剖学的基礎を習得させる。

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1	骨学と関節学 1	全身の骨格、頭蓋、脊柱、胸郭	実習
2	骨学と関節学 2	上肢の骨と関節	
3	骨学と関節学 3	下肢の骨と関節	
4	筋学 1	上肢の筋	
5	筋学 2	下肢の筋	
6	筋学 3	体幹の筋	
7	神経系 1	中枢神経系と末梢神経系	
8	神経系 2		
9	神経系 3		
10	聴覚器	聴覚器の模型観察とスケッチ	
11	発声発語器官	鼻腔、口腔から喉頭までの模型観察とスケッチ	
12	人体解剖実習見学 1～4	頭頸部の人体解剖実習見学（新潟大学歯学部）	
～			
15			

【評価方法】

実習態度、スケッチ、レポート、小テストの総合評価

【履修上の留意点】

【使用図書】

教科書・参考書別	書名	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のための解剖学	渡辺正仁	廣川書店	2000年 5500円
	人体解剖カラーアトラス	佐藤達夫訳	南江堂	2000年 5700円
参考書	人体解剖学	藤田恒太郎	南江堂	2000年 9223円